

# 楽しく

# 花火

# で遊ぶために

- まず何よりも消火のための水バケツを用意しておきましょう。
- 周りの燃えやすいものを片付けて、広い場所で行きましょう。
- 風のあるときに花火をするのはやめましょう。
- 花火が終わったら、水をかけるなど、火種を残さないようにしましょう。
- 子どもの衣服は、火が移らないようにそで口やすそがヒラヒラしているものは避けましょう。
- 一度に何本もの花火に火をつけてはいけません。説明書にある遊びかたを守りましょう。
- 子どもだけで遊ばせることは危険です。大人も必ず一緒にいてあげてください。
- 火が消えても花火の筒の中をのぞいてはいけません。
- 花火は火薬です。ほぐしたり、ポケットに入れたりするのは大変危険なので、絶対にやめましょう。

## 花火の疑問

**Q** 花火で火事になることがあるの？

**A** もちろんあります。枯れ草に燃え移ったり、建物に飛び込んで出火したりと、花火が原因の火災が一年間に約百件もおきています。

また、火事ではありませんが、一人で花火をしていた三歳の女の子が、浴衣のすそに火が移って全身やけどで死亡したという痛ましい事故も起こっています。

### ちよつとつうし

#### 火に弱い 合成繊維

繊維の燃焼テストによれば、燃えやすいのはレーヨン、綿、アクリル、ナイロン、ポリエステルで、天然繊維の毛や絹は燃えにくいという結果が出ています。また、アクリルは激しく燃えて熱量が高い、ナイロンやポリエステルは燃えると溶けて固まる、レーヨンは火がつきやすいといった特性があります。

合成繊維の世の中です。子どもの遊び着はそでやすその広がったものやヒラヒラしたものは避けましょう。家事をするときも、そで口をしぼったりかっぽう着を着たりするなど、用心にこしたことはありません。ちなみに、アメリカでは0～12歳の子どものパジャマは燃えにくい加工をしていなければ販売も輸入も禁止されているそうです。

